

# グローバル超好配当株式ファンド (隔月決算型) / (資産成長型)

## 運用報告書(全体版)

隔月決算型 第23期 (決算日 2023年7月24日)  
第24期 (決算日 2023年9月25日)  
資産成長型 第25期 (決算日 2023年11月24日)  
第8期 (決算日 2023年11月24日)

(作成対象期間 2023年5月24日～2023年11月24日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2019年11月5日～2024年11月22日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	グローバル超好配当株式マザーファンドの受益証券
	グローバル超好配当株式マザーファンド	日本を含む世界の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。）
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	
分配方針	隔月決算型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。
	資産成長型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、予想配当利回りが高い世界の株式に投資し、安定的な配当等収益の確保と値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますようお願い申し上げます。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先（コールセンター）  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00～17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<3402>  
<3401>

隔月決算型

最近15期の運用実績

決算期	基準価額			MSCI AC World 指数 (税引後配当込み、円換算)		株式 組入比率	株式 先物比率	投資証券 組入比率	純資産 総額
	(分配率)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
11期末(2021年7月26日)	10,986	0	△ 1.4	14,028	5.4	94.4	—	1.7	54
12期末(2021年9月24日)	10,838	0	△ 1.3	14,133	0.7	97.1	—	1.4	54
13期末(2021年11月24日)	11,059	0	2.0	15,136	7.1	94.9	—	1.3	55
14期末(2022年1月24日)	11,287	55	2.6	14,255	△ 5.8	96.8	—	0.4	56
15期末(2022年3月23日)	11,751	55	4.6	15,110	6.0	98.1	—	—	60
16期末(2022年5月23日)	11,620	55	△ 0.6	14,052	△ 7.0	96.8	—	—	58
17期末(2022年7月25日)	11,095	60	△ 4.0	14,973	6.6	94.4	—	—	57
18期末(2022年9月26日)	10,805	60	△ 2.1	14,556	△ 2.8	98.7	—	—	55
19期末(2022年11月24日)	11,866	60	10.4	15,489	6.4	98.8	—	—	61
20期末(2023年1月23日)	11,225	60	△ 4.9	14,712	△ 5.0	98.3	—	—	57
21期末(2023年3月23日)	10,695	60	△ 4.2	14,624	△ 0.6	97.6	—	—	56
22期末(2023年5月23日)	11,514	60	8.2	16,402	12.2	98.3	—	—	59
23期末(2023年7月24日)	12,190	60	6.4	17,871	9.0	98.6	—	—	63
24期末(2023年9月25日)	12,462	60	2.7	17,840	△ 0.2	98.3	—	—	64
25期末(2023年11月24日)	12,614	65	1.7	18,789	5.3	98.5	—	—	65

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) MSCI AC World 指数 (税引後配当込み、円換算) は、MSCI Inc. (「MSCI」) の承諾を得て、MSCI AC World 指数 (税引後配当込み、米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCI AC World 指数 (税引後配当込み、米ドルベース) は、MSCI Inc. が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>]

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

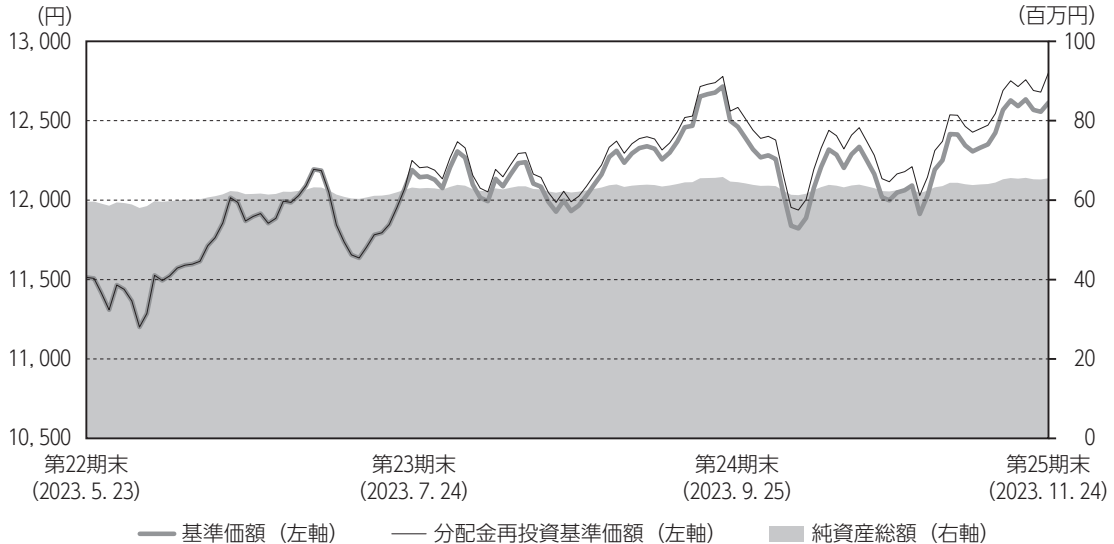
(注6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

※参考指数を「MSCI AC World 指数 (配当込み、円換算)」から「MSCI AC World 指数 (税引後配当込み、円換算)」に変更しました。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### ■ 基準価額・騰落率

第23期首：11,514円

第25期末：12,614円（既払分配金185円）

騰落率：11.2%（分配金再投資ベース）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

世界株式市況は、米国の利上げ終了への期待や底堅い米国経済を背景に上昇しました。為替相場は、米国金利が上昇した一方で日銀は緩和的な金融政策の維持を発表したことなどから対円で上昇（円安）しました。このような環境下で、日本を含む世界の予想配当利回りが高いと判断される企業の株式に投資した結果、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

グローバル超好配当株式ファンド（隔月決算型）

	年 月 日	基 準 価 額		M S C I A C World 指数 (税引後配当込み、円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率	投 資 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
第23期	(期首) 2023年 5月23日	円 11,514	% —	16,402	% —	% 98.3	% —	% —
	5月末	11,366	△ 1.3	16,433	0.2	98.1	—	—
	6月末	12,028	4.5	17,689	7.8	98.2	—	—
	(期末) 2023年 7月24日	12,250	6.4	17,871	9.0	98.6	—	—
第24期	(期首) 2023年 7月24日	12,190	—	17,871	—	98.6	—	—
	7月末	12,207	0.1	17,972	0.6	98.0	—	—
	8月末	12,311	1.0	18,201	1.8	98.0	—	—
	(期末) 2023年 9月25日	12,522	2.7	17,840	△ 0.2	98.3	—	—
第25期	(期首) 2023年 9月25日	12,462	—	17,840	—	98.3	—	—
	9月末	12,282	△ 1.4	17,807	△ 0.2	98.3	—	—
	10月末	12,027	△ 3.5	17,218	△ 3.5	98.5	—	—
	(期末) 2023年11月24日	12,679	1.7	18,789	5.3	98.5	—	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2023. 5. 24 ~ 2023. 11. 24)

### ■世界株式市況

世界株式市況は上昇しました。

世界株式市況は、当作成期首より、A I（人工知能）関連の半導体企業の強気見通しや債務上限問題の解決、インフレ率の鈍化などが好感され、大幅に上昇しました。2023年8月以降は、米国国債の増発やF R B（米国連邦準備制度理事会）の政策金利見通しの引き上げ、政府機関の閉鎖懸念などから長期金利が大幅に上昇したことを受け、株価は下落しました。10月に入ると、つなぎ予算の成立によって政府機関の閉鎖が回避されて一時的に反発しましたが、景気の先行き不透明感や企業業績の伸びの鈍化、パレスチナ情勢の悪化、長期金利のさらなる上昇などが嫌気され、下落しました。11月以降は、F R Bによる利上げ終了への期待や米国経済は引き続き底堅いという楽観的な見方から大きく上昇し、当作成期末を迎えました。

### ■為替相場

為替相場は対円で上昇しました。

為替相場は、当作成期首より、F R B（米国連邦準備制度理事会）が政策金利見通しを引き上げた一方で、日銀は現状の金融緩和政策の維持を決定したことなどから、2023年6月末にかけて対円での上昇幅を拡大しました。7月は、日本の政府要人等による円安けん制発言や日銀の政策運営の柔軟化決定を受け、対円で下落（円高）しました。8月以降は、米国金利が上昇した一方で日銀は緩和的な金融政策の維持を発表したことから反転し、投資対象通貨は対円で上昇して当作成期末を迎えました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

「グローバル超好配当株式マザーファンド」の受益証券を通じて、予想配当利回りが高い世界の株式に投資し、安定的な配当等収益の確保と値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざします。

## ■グローバル超好配当株式マザーファンド

日本を含む世界の予想配当利回りが高いと判断される企業の株式に投資します。ポートフォリオの構築にあたっては、以下の方針で行うことを基本とします。

- ・ 定量的なアプローチにより、予想配当利回りや配当の持続性と安定性、時価総額等の観点から投資対象ユニバースを選定します。
- ・ 投資対象ユニバースの中から、徹底したボトムアップアプローチにより、配当の持続性と安定性等に着目した定性的な分析・調査を行い、投資候補銘柄を選定します。
- ・ 投資候補銘柄の中から、ポートフォリオの地域・セクターの分散やリスクを考慮しつつ、ポートフォリオの予想配当利回りが相対的に高水準になるよう各銘柄の組入比率を決定します。

## ポートフォリオについて

(2023. 5. 24 ~ 2023. 11. 24)

### ■当ファンド

「グローバル超好配当株式マザーファンド」の受益証券を通じて、予想配当利回りが高い世界の株式に投資し、安定的な配当等収益の確保と値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざしました。

### ■グローバル超好配当株式マザーファンド

日本を含む世界の予想配当利回りが高いと判断される企業の株式に投資しました。ポートフォリオの構築にあたっては、以下の方針で行うことを基本としました。

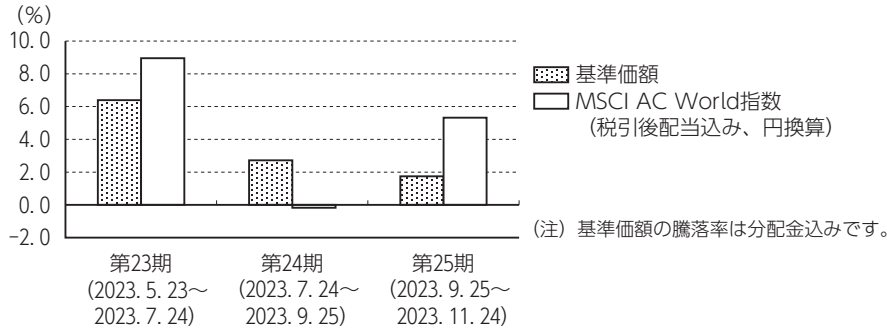
- ・ 定量的なアプローチにより、予想配当利回りや配当の持続性と安定性、時価総額等の観点から投資対象ユニバースを選定します。
- ・ 投資対象ユニバースの中から、徹底したボトムアップアプローチにより、配当の持続性と安定性等に着目した定性的な分析・調査を行い、投資候補銘柄を選定します。
- ・ 投資候補銘柄の中から、ポートフォリオの地域・セクターの分散やリスクを考慮しつつ、ポートフォリオの予想配当利回りが相対的に高水準になるよう各銘柄の組入比率を決定します。

国・地域別では、米国やスイス、イタリアなどを組入上位としました。

個別銘柄では、ENEL SPA（イタリア）、ZURICH INSURANCE GROUP AG（スイス）、ALLIANZ SE-REG（ドイツ）などを組入上位としました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。  
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第23期	第24期	第25期
	2023年5月24日 ～2023年7月24日	2023年7月25日 ～2023年9月25日	2023年9月26日 ～2023年11月24日
<b>当期分配金（税込み）</b> (円)	<b>60</b>	<b>60</b>	<b>65</b>
対基準価額比率 (%)	0.49	0.48	0.51
当期の収益 (円)	60	60	65
当期の収益以外 (円)	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	2,223	2,496	2,648

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率は異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

## ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第23期	第24期	第25期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 112.33円	✓ 78.97円	✓ 76.59円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	189.75	253.77	140.48
(c) 収益調整金	159.98	164.65	173.38
(d) 分配準備積立金	1,821.54	2,059.02	2,323.14
(e) 当期分配対象額（a + b + c + d）	2,283.61	2,556.42	2,713.61
(f) 分配金	60.00	60.00	65.00
(g) 翌期繰越分配対象額（e - f）	2,223.61	2,496.42	2,648.61

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

「グローバル超好配当株式マザーファンド」の受益証券を通じて、予想配当利回りが高い世界の株式に投資し、安定的な配当等収益の確保と値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざします。

### ■グローバル超好配当株式マザーファンド

日本を含む世界の予想配当利回りが高いと判断される企業の株式に投資します。ポートフォリオの構築にあたっては、以下の方針で行うことを基本とします。

- ・ 定量的なアプローチにより、予想配当利回りや配当の持続性と安定性、時価総額等の観点から投資対象ユニバースを選定します。
- ・ 投資対象ユニバースの中から、徹底したボトムアップアプローチにより、配当の持続性と安定性等に着目した定性的な分析・調査を行い、投資候補銘柄を選定します。
- ・ 投資候補銘柄の中から、ポートフォリオの地域・セクターの分散やリスクを考慮しつつ、ポートフォリオの予想配当利回りが相対的に高水準になるよう各銘柄の組入比率を決定します。



## 1万口当りの費用の明細

項 目	第23期～第25期 (2023. 5. 24～2023. 11. 24)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	83円	0.684%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は12,083円です。
(投 信 会 社)	(40)	(0.334)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(40)	(0.334)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.017)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	4	0.030	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(4)	(0.030)	
有 価 証 券 取 引 税	1	0.007	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(1)	(0.007)	
そ の 他 費 用	21	0.171	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(20)	(0.164)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(1)	(0.004)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	108	0.891	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

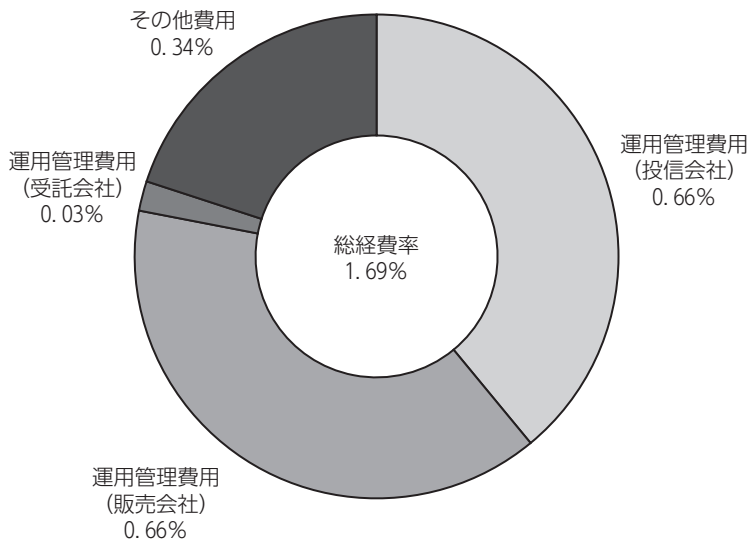
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.69%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況  
親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2023年5月24日から2023年11月24日まで)

決算期	第23期～第25期			
	設定		解約	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
グローバル超好配当株式マザーファンド	303	400	1,170	1,600

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2023年5月24日から2023年11月24日まで)

項目	第23期～第25期	
	グローバル超好配当株式マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	22,434千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	134,686千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.16	

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

当作成期首保有額	当作成期中設定額	当作成期中解約額	当作成期末保有額	取引の理由
百万円	百万円	百万円	百万円	
50	—	—	50	当初設定時における取得

(注1) 金額は元本ベース。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表  
親投資信託残高

種類	第22期末	第25期末	
	□数	□数	評価額
	千口	千口	千円
グローバル超好配当株式マザーファンド	46,962	46,095	65,326

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年11月24日現在

項目	第25期末	
	評価額	比率
	千円	%
グローバル超好配当株式マザーファンド	65,326	99.0
コール・ローン等、その他	651	1.0
投資信託財産総額	65,977	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月24日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=149.63円、1カナダ・ドル=109.26円、1オーストラリア・ドル=98.25円、1香港・ドル=19.19円、1シンガポール・ドル=111.65円、1台湾・ドル=4.749円、1イギリス・ポンド=187.71円、1スイス・フラン=169.30円、1ノルウェー・クローネ=13.89円、1スウェーデン・クローネ=14.28円、1ブラジル・レアル=30.484円、100韓国・ウォン=11.55円、1オフショア・人民元=20.934円、1タイ・バーツ=4.22円、1ユーロ=163.23円です。

(注3) グローバル超好配当株式マザーファンドにおいて、第25期末における外貨建純資産（132,199千円）の投資信託財産総額（144,247千円）に対する比率は、91.6%です。

## グローバル超好配当株式ファンド（隔月決算型）

### ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年7月24日)、(2023年9月25日)、(2023年11月24日)現在

項 目	第23期末	第24期末	第25期末
<b>(A) 資産</b>	<b>63,646,024円</b>	<b>64,977,676円</b>	<b>65,977,369円</b>
コール・ローン等	561,041	619,742	651,170
グローバル超好配当株式マザーファンド (評価額)	63,084,983	64,357,934	65,326,199
<b>(B) 負債</b>	<b>451,295</b>	<b>470,425</b>	<b>480,001</b>
未払収益分配金	311,052	310,569	337,511
未払解約金	306	11,108	20
未払信託報酬	139,395	147,639	140,821
その他未払費用	542	1,109	1,649
<b>(C) 純資産総額 (A - B)</b>	<b>63,194,729</b>	<b>64,507,251</b>	<b>65,497,368</b>
元本	51,842,121	51,761,665	51,924,770
次期繰越損益金	11,352,608	12,745,586	13,572,598
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>51,842,121口</b>	<b>51,761,665口</b>	<b>51,924,770口</b>
1万口当り基準価額 (C/D)	12,190円	12,462円	12,614円

\* 当作成期首における元本額は51,756,451円、当作成期間（第23期～第25期）中における追加設定元本額は486,540円、同解約元本額は318,221円です。

\* 第25期末の計算口数当りの純資産額は12,614円です。

### ■損益の状況

第23期 自 2023年5月24日 至 2023年7月24日

第24期 自 2023年7月25日 至 2023年9月25日

第25期 自 2023年9月26日 至 2023年11月24日

項 目	第23期	第24期	第25期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>△ 1円</b>	<b>△ 1円</b>	<b>△ 1円</b>
支払利息	△ 1	△ 1	△ 1
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>3,950,630</b>	<b>1,870,525</b>	<b>1,268,550</b>
売買益	3,953,918	1,873,062	1,268,564
売買損	△ 3,288	△ 2,537	△ 14
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 139,937</b>	<b>△ 148,206</b>	<b>△ 141,361</b>
<b>(D) 当期損益金 (A + B + C)</b>	<b>3,810,692</b>	<b>1,722,318</b>	<b>1,127,189</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>7,198,680</b>	<b>10,657,859</b>	<b>12,062,900</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>654,288</b>	<b>675,978</b>	<b>720,020</b>
(配当等相当額)	( 829,383)	( 852,290)	( 900,304)
(売買損益相当額)	(△ 175,095)	(△ 176,312)	(△ 180,284)
<b>(G) 合計 (D + E + F)</b>	<b>11,663,660</b>	<b>13,056,155</b>	<b>13,910,109</b>
<b>(H) 収益分配金</b>	<b>△ 311,052</b>	<b>△ 310,569</b>	<b>△ 337,511</b>
次期繰越損益金 (G + H)	11,352,608	12,745,586	13,572,598
追加信託差損益金	654,288	675,978	720,020
(配当等相当額)	( 829,383)	( 852,290)	( 900,304)
(売買損益相当額)	(△ 175,095)	(△ 176,312)	(△ 180,284)
分配準備積立金	10,698,320	12,069,608	12,852,578

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第23期	第24期	第25期
(a) 経費控除後の配当等収益	582,362円	408,762円	397,724円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	983,727	1,313,556	729,465
(c) 収益調整金	829,383	852,290	900,304
(d) 分配準備積立金	9,443,283	10,657,859	12,062,900
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	11,838,755	13,232,467	14,090,393
(f) 分配金	311,052	310,569	337,511
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	11,527,703	12,921,898	13,752,882
(h) 受益権総口数	51,842,121□	51,761,665□	51,924,770□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ			
1 万 口 当 り 分 配 金 ( 税 込 み )	第23期	第24期	第25期
	60円	60円	65円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

資産成長型

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCI AC World 指数 (税引後配当込み、円換算)		株式 組入比率	株式 先物比率	投資証券 組入比率	純資産 総額
	(分配額)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
4 期末 (2021年11月24日)	11,066	0	△ 0.7	15,136	13.7	94.7	—	1.3	55
5 期末 (2022年 5月23日)	11,802	0	6.7	14,052	△ 7.2	96.8	—	—	67
6 期末 (2022年11月24日)	12,240	0	3.7	15,489	10.2	98.7	—	—	69
7 期末 (2023年 5月23日)	12,074	0	△ 1.4	16,402	5.9	98.3	—	—	72
8 期末 (2023年11月24日)	13,424	0	11.2	18,789	14.6	98.5	—	—	79

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) MSCI AC World 指数 (税引後配当込み、円換算) は、MSCI Inc. (「MSCI」) の承諾を得て、MSCI AC World 指数 (税引後配当込み、米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCI AC World 指数 (税引後配当込み、米ドルベース) は、MSCI Inc. が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>]

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

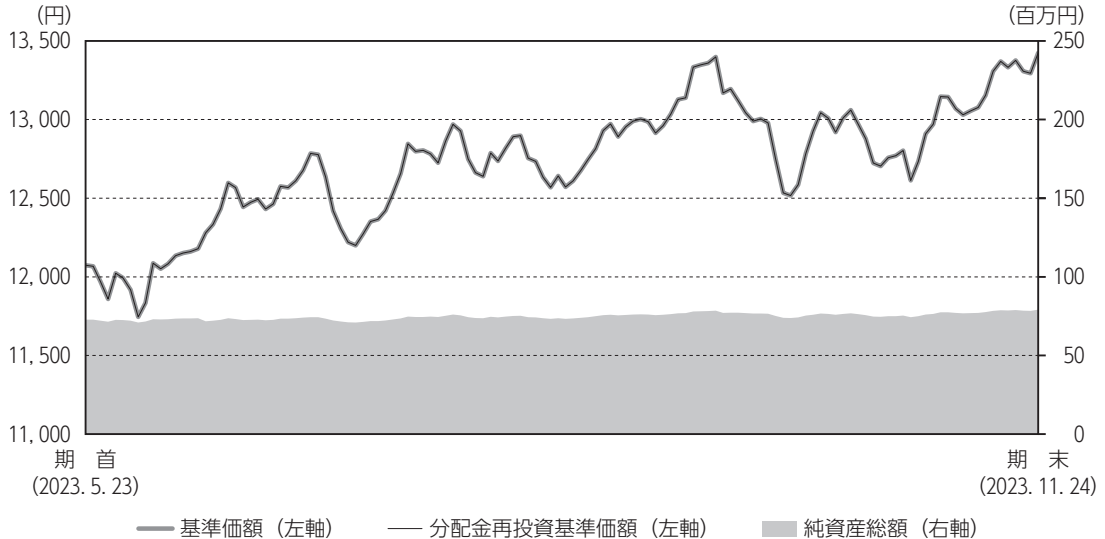
(注6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

※参考指数を「MSCI AC World 指数 (配当込み、円換算)」から「MSCI AC World 指数 (税引後配当込み、円換算)」に変更しました。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### ■ 基準価額・騰落率

期首：12,074円

期末：13,424円（分配金0円）

騰落率：11.2%（分配金込み）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

世界株式市況は、米国の利上げ終了への期待や底堅い米国経済を背景に上昇しました。為替相場は、米国金利が上昇した一方で日銀は緩和的な金融政策の維持を発表したことなどから対円で上昇（円安）しました。このような環境下で、日本を含む世界の予想配当利回りが高いと判断される企業の株式に投資した結果、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

グローバル超好配当株式ファンド（資産成長型）

年 月 日	基 準 価 額		MSCI AC World 指数 (税引後配当込み、円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率	投 資 証 券 組 入 比 率
	円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %			
(期首) 2023年 5月23日	12,074	—	16,402	—	98.3	—	—
5月末	11,918	△ 1.3	16,433	0.2	98.0	—	—
6月末	12,611	4.4	17,689	7.8	98.2	—	—
7月末	12,864	6.5	17,972	9.6	98.0	—	—
8月末	12,972	7.4	18,201	11.0	98.0	—	—
9月末	13,004	7.7	17,807	8.6	98.3	—	—
10月末	12,734	5.5	17,218	5.0	98.6	—	—
(期末) 2023年11月24日	13,424	11.2	18,789	14.6	98.5	—	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。



## 投資環境について

(2023. 5. 24 ~ 2023. 11. 24)

### ■世界株式市況

世界株式市況は上昇しました。

世界株式市況は、当作成期首より、A I（人工知能）関連の半導体企業の強気見通しや債務上限問題の解決、インフレ率の鈍化などが好感され、大幅に上昇しました。2023年8月以降は、米国国債の増発やF R B（米国連邦準備制度理事会）の政策金利見通しの引き上げ、政府機関の閉鎖懸念などから長期金利が大幅に上昇したことを受け、株価は下落しました。10月に入ると、つなぎ予算の成立によって政府機関の閉鎖が回避されて一時的に反発しましたが、景気の先行き不透明感や企業業績の伸びの鈍化、パレスチナ情勢の悪化、長期金利のさらなる上昇などが嫌気され、下落しました。11月以降は、F R Bによる利上げ終了への期待や米国経済は引き続き底堅いという楽観的な見方から大きく上昇し、当作成期末を迎えました。

### ■為替相場

為替相場は対円で上昇しました。

為替相場は、当作成期首より、F R B（米国連邦準備制度理事会）が政策金利見通しを引き上げた一方で、日銀は現状の金融緩和政策の維持を決定したことなどから、2023年6月末にかけて対円での上昇幅を拡大しました。7月は、日本の政府要人等による円安けん制発言や日銀の政策運営の柔軟化決定を受け、対円で下落（円高）しました。8月以降は、米国金利が上昇した一方で日銀は緩和的な金融政策の維持を発表したことから反転し、投資対象通貨は対円で上昇して当作成期末を迎えました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

「グローバル超好配当株式マザーファンド」の受益証券を通じて、予想配当利回りが高い世界の株式に投資し、安定的な配当等収益の確保と値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざします。

## ■グローバル超好配当株式マザーファンド

日本を含む世界の予想配当利回りが高いと判断される企業の株式に投資します。ポートフォリオの構築にあたっては、以下の方針で行うことを基本とします。

- ・ 定量的なアプローチにより、予想配当利回りや配当の持続性と安定性、時価総額等の観点から投資対象ユニバースを選定します。
- ・ 投資対象ユニバースの中から、徹底したボトムアップアプローチにより、配当の持続性と安定性等に着目した定性的な分析・調査を行い、投資候補銘柄を選定します。
- ・ 投資候補銘柄の中から、ポートフォリオの地域・セクターの分散やリスクを考慮しつつ、ポートフォリオの予想配当利回りが相対的に高水準になるよう各銘柄の組入比率を決定します。

## ポートフォリオについて

(2023. 5. 24 ~ 2023. 11. 24)

## ■当ファンド

「グローバル超好配当株式マザーファンド」の受益証券を通じて、予想配当利回りが高い世界の株式に投資し、安定的な配当等収益の確保と値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざしました。

## ■グローバル超好配当株式マザーファンド

日本を含む世界の予想配当利回りが高いと判断される企業の株式に投資しました。ポートフォリオの構築にあたっては、以下の方針で行うことを基本としました。

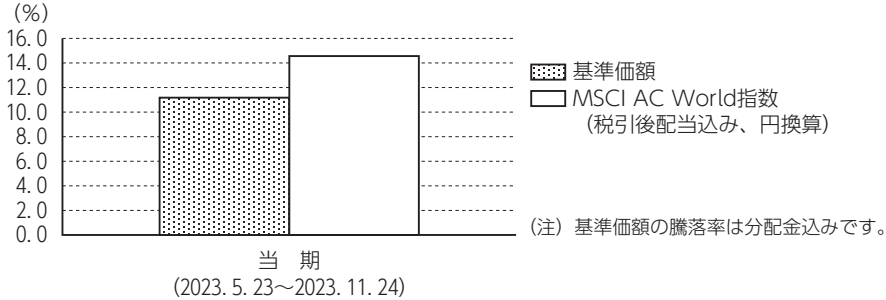
- ・ 定量的なアプローチにより、予想配当利回りや配当の持続性と安定性、時価総額等の観点から投資対象ユニバースを選定します。
- ・ 投資対象ユニバースの中から、徹底したボトムアップアプローチにより、配当の持続性と安定性等に着目した定性的な分析・調査を行い、投資候補銘柄を選定します。
- ・ 投資候補銘柄の中から、ポートフォリオの地域・セクターの分散やリスクを考慮しつつ、ポートフォリオの予想配当利回りが相対的に高水準になるよう各銘柄の組入比率を決定します。

国・地域別では、米国やスイス、イタリアなどを組入上位としました。

個別銘柄では、ENEL SPA（イタリア）、ZURICH INSURANCE GROUP AG（スイス）、ALLIANZ SE-REG（ドイツ）などを組入上位としました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。  
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2023年5月24日 ～2023年11月24日	
当期分配金 (税込み) (円)		—
対基準価額比率 (%)		—
当期の収益 (円)		—
当期の収益以外 (円)		—
翌期繰越分配対象額 (円)		3,424

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

「グローバル超好配当株式マザーファンド」の受益証券を通じて、予想配当利回りが高い世界の株式に投資し、安定的な配当等収益の確保と値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざします。

### ■グローバル超好配当株式マザーファンド

日本を含む世界の予想配当利回りが高いと判断される企業の株式に投資します。ポートフォリオの構築にあたっては、以下の方針で行うことを基本とします。

- ・ 定量的なアプローチにより、予想配当利回りや配当の持続性と安定性、時価総額等の観点から投資対象ユニバースを選定します。
- ・ 投資対象ユニバースの中から、徹底したボトムアップアプローチにより、配当の持続性と安定性等に着目した定性的な分析・調査を行い、投資候補銘柄を選定します。
- ・ 投資候補銘柄の中から、ポートフォリオの地域・セクターの分散やリスクを考慮しつつ、ポートフォリオの予想配当利回りが相対的に高水準になるよう各銘柄の組入比率を決定します。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2023. 5. 24~2023. 11. 24)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	87円	0.684%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は12,730円です。
(投 信 会 社)	(42)	(0.334)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(42)	(0.334)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.017)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	4	0.030	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(4)	(0.030)	
有 価 証 券 取 引 税	1	0.007	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(1)	(0.007)	
そ の 他 費 用	22	0.171	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(21)	(0.164)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(1)	(0.004)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	113	0.891	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

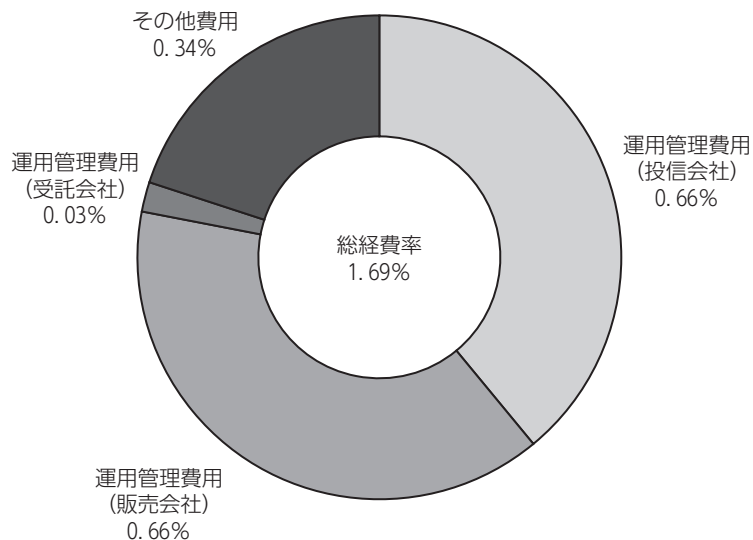
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.69%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2023年5月24日から2023年11月24日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
グローバル超好配当株式マザーファンド	1,340	1,800	2,998	3,900

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2023年5月24日から2023年11月24日まで)

項 目	当 期
	グローバル超好配当株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	22,434千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	134,686千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.16

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

当作成期首保有額	当作成期中設定額	当作成期中解約額	当作成期末保有額	取引の理由
百万円	百万円	百万円	百万円	
50	—	—	50	当初設定時における取得

(注1) 金額は元本ベース。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
グローバル超好配当株式マザーファンド	57,347	55,689	78,922

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年11月24日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
グローバル超好配当株式マザーファンド	78,922	99.1
コール・ローン等、その他	709	0.9
投資信託財産総額	79,632	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月24日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=149.63円、1カナダ・ドル=109.26円、1オーストラリア・ドル=98.25円、1香港・ドル=19.19円、1シンガポール・ドル=111.65円、1台湾・ドル=4.749円、1イギリス・ポンド=187.71円、1スイス・フラン=169.30円、1ノルウェー・クローネ=13.89円、1スウェーデン・クローネ=14.28円、1ブラジル・レアル=30.484円、100韓国・ウォン=11.55円、1オフショア・人民元=20.934円、1タイ・バーツ=4.22円、1ユーロ=163.23円です。

(注3) グローバル超好配当株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（132,199千円）の投資信託財産総額（144,247千円）に対する比率は、91.6%です。

## グローバル超好配当株式ファンド（資産成長型）

### ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年11月24日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>79,632,310円</b>
コール・ローン等	709,524
グローバル超好配当株式 マザーファンド（評価額）	78,922,786
<b>(B) 負債</b>	<b>513,644</b>
未払解約金	669
未払信託報酬	510,983
その他未払費用	1,992
<b>(C) 純資産総額（A - B）</b>	<b>79,118,666</b>
元本	58,936,653
次期繰越損益金	20,182,013
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>58,936,653口</b>
1万口当り基準価額（C / D）	13,424円

\* 期首における元本額は60,274,579円、当作成期間中における追加設定元本額は1,937,306円、同解約元本額は3,275,232円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は13,424円です。

### ■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	7,065,310
(c) 収益調整金	3,283,765
(d) 分配準備積立金	9,832,955
(e) 当期分配対象額（a + b + c + d）	20,182,030
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額（e - f）	20,182,030
(h) 受益権総口数	58,936,653口

### ■損益の状況

当期 自 2023年5月24日 至 2023年11月24日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>△ 17円</b>
支払利息	△ 17
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>8,342,193</b>
売買益	8,449,397
売買損	△ 107,204
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 512,975</b>
<b>(D) 当期損益金（A + B + C）</b>	<b>7,829,201</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>9,069,047</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>3,283,765</b>
（配当等相当額）	（ 3,154,894）
（売買損益相当額）	（ 128,871）
<b>(G) 合計（D + E + F）</b>	<b>20,182,013</b>
<b>次期繰越損益金（G）</b>	<b>20,182,013</b>
追加信託差損益金	3,283,765
（配当等相当額）	（ 3,154,894）
（売買損益相当額）	（ 128,871）
分配準備積立金	16,898,265
繰越損益金	△ 17

（注1）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

（注3）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。



# グローバル超好配当株式マザーファンド

## 運用報告書 第4期 (決算日 2023年11月24日)

(作成対象期間 2022年11月25日～2023年11月24日)

グローバル超好配当株式マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行いません。
主要投資対象	日本を含む世界の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みません。）の株式（DR（預託証券）を含みます。）
株式組入制限	無制限

## 大和アセットマネジメント

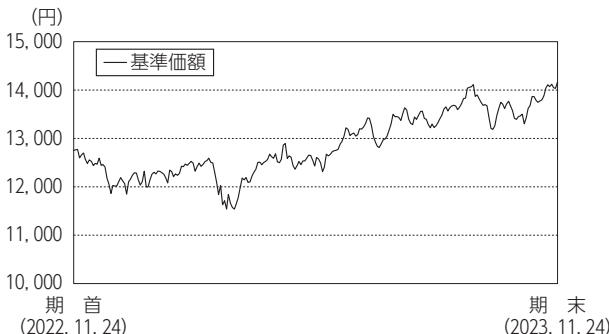
Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移

《運用経過》



◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：12,751円 期末：14,172円 騰落率：11.1%

【基準価額の主な変動要因】

世界株式市況は、米国の利上げ終了への期待や底堅い米国経済を背景に上昇しました。為替相場は、米国金利が上昇した一方で日銀は緩和的な金融政策の維持を発表したことなどから対円で上昇（円安）しました。このような環境下で、日本を含む世界の予想配当利回りが高いと判断される企業の株式に投資した結果、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○世界株式市況

世界株式市況は上昇しました。

世界株式市況は、当作成期首より、米国の景況感や企業業績の悪化懸念などから下落しました。2023年に入ると、賃金上昇率の鈍化でFRB（米国連邦準備制度理事会）の利上げペースが減速するとの期待などから上昇しました。2月から3月半ばにかけては、予想を上回る経済指標の発表が相次ぎ金利が上昇したことや、米国の地方銀行の経営破綻を受けて下落しましたが、その後は、FRBによる緊急融資枠の新設で資金繰り懸念が後退したことなどが好感され、成長株を中心に上昇に転じました。4月以降は、米国の地方銀行の経営不安や債務上限問題への懸念が上値を抑えた一方、予想を上回る企業決算の発表が好感され、底堅い展開となりました。5月下旬からは、AI（人工知能）関連の半導体企業の強気見通しや債務上限問題の解決、インフレ率の鈍化などが好感され、大幅に上昇しました。8月以降は、米国国債の増発やFRBの政策金利見通しの引き上げ、政府機関の閉鎖懸念などから長期金利が大幅に上昇したことを受け、株価は下落しました。10月に入ると、つなぎ予算の成立によって政府機関の閉鎖が回避されて一時的に反発しましたが、景気の先行き不透明感や企業業績の伸びの鈍化、パレスチナ情勢の悪化、長期金利のさらなる上昇などが嫌気され、下落しました。11月以降は、FRBによる利上げ終了への期待や米国経済は引き続き底堅いという楽観的な見方から大きく上昇し、当作成期末を迎えました。

○為替相場

為替相場は対円で上昇しました。

対円為替相場は、当作成期首より、インフレ率の低下期待などから米国金利が低下し日米金利差の縮小が意識されたことや、日銀が想定外の政策修正を行ったことで金融緩和政策の転換などが意識され、円高が進行しました。2023年1月には、日銀が金融緩和政策の維持を決定したことで一時的に円安が進行する局面もありましたが、日米金利差の縮小などにより円高基調が継続しました。しかし2月に入り、堅調な米国の経済指標を受けて米国金利が大きく上昇し、円安に転じました。3月は、信用不安の拡大により米国金利が大きく低下したことや、リスク回避による円買い需要の高まりなどから、円高が進みました。4月以降は、経済指標の上振れなどを背景に米国金利が上昇するに連れて反転し、上昇基調となりました。6月に入ると、FRB（米国連邦準備制度理事会）が政策金利見直しを引き上げた一方で、日銀は現状の金融緩和政策の維持を決定したことなどから、月末にかけて対円での上昇幅を拡大しました。7月は、日本の政府要人等による円安けん制発言や日銀の政策運営の柔軟化決定を受け、対円で下落（円高）しました。8月以降は、米国金利が上昇した一方で日銀は緩和的な金融政策の維持を発表したことなどから反転し、投資対象通貨は対円で上昇して当作成期末を迎えました。

年 月 日	基準価額		MSCI AC World 指数 (税引後配当込み、円換算) (参考指数)		株式組入 比	株式先物 比率	投資証券 組入比率
	円	%	騰落率	%	%	%	%
(期首) 2022年11月24日	12,751	—	15,489	—	99.0	—	—
11月末	12,660	△ 0.7	15,309	△ 1.2	98.7	—	—
12月末	12,066	△ 5.4	14,404	△ 7.0	98.5	—	—
2023年1月末	12,291	△ 3.6	15,024	△ 3.0	98.7	—	—
2月末	12,490	△ 2.0	15,394	△ 0.6	98.9	—	—
3月末	12,182	△ 4.5	15,337	△ 1.0	98.4	—	—
4月末	12,566	△ 1.5	15,682	1.3	98.6	—	—
5月末	12,495	△ 2.0	16,433	6.1	98.3	—	—
6月末	13,239	3.8	17,689	14.2	98.4	—	—
7月末	13,521	6.0	17,972	16.0	98.2	—	—
8月末	13,651	7.1	18,201	17.5	98.2	—	—
9月末	13,698	7.4	17,807	15.0	98.6	—	—
10月末	13,429	5.3	17,218	11.2	98.8	—	—
(期末) 2023年11月24日	14,172	11.1	18,789	21.3	98.7	—	—

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) MSCI AC World 指数 (税引後配当込み、円換算) は、MSCI Inc. (「MSCI」) の承諾を得て、MSCI AC World 指数 (税引後配当込み、米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCI AC World 指数 (税引後配当込み、米ドルベース) は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html]

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

※参考指数を「MSCI AC World 指数 (配当込み、円換算)」から「MSCI AC World 指数 (税引後配当込み、円換算)」に変更しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

日本を含む世界の予想配当利回りが高いと判断される企業の株式に投資します。ポートフォリオの構築にあたっては、以下の方針で行うことを基本とします。

- ・ 定量的なアプローチにより、予想配当利回りや配当の持続性と安定性、時価総額等の観点から投資対象ユニバースを選定します。
- ・ 投資対象ユニバースの中から、徹底したボトムアップアプローチにより、配当の持続性と安定性等に着目した定性的な分析・調査を行い、投資候補銘柄を選定します。
- ・ 投資候補銘柄の中から、ポートフォリオの地域・セクターの分散やリスクを考慮しつつ、ポートフォリオの予想配当利回りが相対的に高水準になるよう各銘柄の組入比率を決定します。

◆ポートフォリオについて

日本を含む世界の予想配当利回りが高いと判断される企業の株式に投資しました。ポートフォリオの構築にあたっては、以下の方針で行うことを基本としました。

- ・ 定量的なアプローチにより、予想配当利回りや配当の持続性と安定性、時価総額等の観点から投資対象ユニバースを選定します。
- ・ 投資対象ユニバースの中から、徹底したボトムアップアプローチにより、配当の持続性と安定性等に着目した定性的な分析・調査を行い、投資候補銘柄を選定します。
- ・ 投資候補銘柄の中から、ポートフォリオの地域・セクターの分散やリスクを考慮しつつ、ポートフォリオの予想配当利回りが相対的に高水準になるよう各銘柄の組入比率を決定します。

国・地域別では、米国や英国、スイス、イタリアなどを組入上位としました。

個別銘柄では、ENEL SPA（イタリア）、ZURICH INSURANCE GROUP AG（スイス）、ALLIANZ SE-REG（ドイツ）などを組入上位としました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

日本を含む世界の予想配当利回りが高いと判断される企業の株式に投資します。ポートフォリオの構築にあたっては、以下の方針で行うことを基本とします。

- ・ 定量的なアプローチにより、予想配当利回りや配当の持続性と安定性、時価総額等の観点から投資対象ユニバースを選定します。
- ・ 投資対象ユニバースの中から、徹底したボトムアップアプローチにより、配当の持続性と安定性等に着目した定性的な分析・調査を行い、投資候補銘柄を選定します。
- ・ 投資候補銘柄の中から、ポートフォリオの地域・セクターの分散やリスクを考慮しつつ、ポートフォリオの予想配当利回りが相対的に高水準になるよう各銘柄の組入比率を決定します。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式)	10円 ( 10)
有価証券取引税 (株式)	3 ( 3)
その他費用 (保管費用) (その他)	49 ( 48) ( 2)
合 計	62

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

株 式

(2022年11月25日から2023年11月24日まで)

	買 付		売 付		
	株 数	金 額	株 数	金 額	
国内	千株 0.5 ( — )	千円 2,272 ( — )	千株 0.4	千円 2,231	
外	アメリカ	百株 16 ( — )	千アメリカ・ドル 28 ( — )	百株 19	千アメリカ・ドル 95
	カナダ	百株 6.25 ( — )	千カナダ・ドル 24 ( — )	百株 2	千カナダ・ドル 11
	香港	百株 25 ( — )	千香港・ドル 147 ( — )	百株 610	千香港・ドル 185
	台湾	百株 — ( — )	千台湾・ドル — ( △7)	百株 —	千台湾・ドル —
国	イギリス	百株 1 ( — )	千イギリス・ポンド 5 ( — )	百株 2.25	千イギリス・ポンド 4
	スイス	百株 1.5 ( — )	千スイス・フラン 14 ( — )	百株 —	千スイス・フラン —
	ノルウェー	百株 3 ( — )	千ノルウェー・クローネ 65 ( — )	百株 —	千ノルウェー・クローネ —
	韓国	百株 6.75 ( — )	千韓国・ウォン 29,683 ( — )	百株 5.25	千韓国・ウォン 32,360
	ユーロ (ドイツ)	百株 3 ( — )	千ユーロ 29 ( — )	百株 2	千ユーロ 7
ユーロ (スペイン)	百株 — ( — )	千ユーロ — ( — )	百株 6	千ユーロ 6	

## グローバル超好配当株式マザーファンド

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	ユーロ (イタリア)	百株 108 ( )	千ユーロ 56 ( )	百株 —	千ユーロ —
	ユーロ (ユーロ圏)	111 ( )	86 ( )	8	13

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ( )内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

### ■主要な売買銘柄

株 式

(2022年11月25日から2023年11月24日まで)

当 期				期 末			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
ENEL SPA (イタリア)	7.1	5,472	770	WILLIAMS COS INC (アメリカ)	0.78	3,244	4,159
HANA FINANCIAL GROUP (韓国)	0.675	3,190	4,727	BANK OF MONTREAL (カナダ)	0.22	2,628	11,946
ALLIANZ SE-REG (ドイツ)	0.1	3,050	30,508	KT&G CORP (韓国)	0.25	2,256	9,027
SNAM SPA (イタリア)	3.7	2,718	734	OGE ENERGY CORP (アメリカ)	0.45	2,180	4,846
MANULIFE FINANCIAL CORP (カナダ)	1	2,602	2,602	SOMPO ホールディングス	0.3	1,587	5,292
GREAT-WEST LIFECO INC (カナダ)	0.625	2,478	3,965	PEOPLE'S INSURANCE CO GROU-H (中国)	30	1,511	50
SWISS RE AG (スイス)	0.15	2,426	16,173	EXXON MOBIL CORP (アメリカ)	0.1	1,392	13,922
MS & AD	0.5	2,272	4,545	BANK OF CHINA LTD-H (中国)	26	1,287	49
AT&T INC (アメリカ)	0.6	1,396	2,328	HANA FINANCIAL GROUP (韓国)	0.275	1,239	4,506
DHL GROUP (ドイツ)	0.2	1,368	6,841	CAN IMPERIAL BK OF COMMERCE (カナダ)	0.2	1,158	5,790

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内株式

銘柄	期首	当期末	
	株数	株数	評価額
	千株	千株	千円
医薬品 (14.5%)			
武田薬品	0.4	0.4	1,681
情報・通信業 (25.9%)			
ソフトバンク	1.7	1.7	3,003
卸売業 (23.2%)			
住友商事	0.4	0.4	1,268
三菱商事	0.3	0.2	1,414
銀行業 (12.7%)			
三井住友フィナンシャルG	0.2	0.2	1,468
保険業 (23.7%)			
SOMPOホールディングス	0.3	—	—
MS & AD	—	0.5	2,748
合計	株数、金額	株数	金額
	3.3	3.4	11,582
	銘柄数<比率>	6銘柄	6銘柄 <8.0%>

(注1) 銘柄欄の( )内は国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注2) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国株式

銘柄	柄	期首	当期末		業種等	
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額		邦貨換算金額
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円		
(アメリカ)						
VERIZON COMMUNICATIONS INC		0.95	0.95	3	530	コミュニケーション・サービス
EXXON MOBIL CORP		4	3	31	4,668	エネルギー
INTL BUSINESS MACHINES CORP		2.25	2.25	34	5,222	情報技術
ABBVIE INC		2.9	2.35	32	4,869	ヘルスケア
ALTRIA GROUP INC		1	1	4	616	生活必需品
PRUDENTIAL FINANCIAL INC		3.8	3.8	36	5,408	金融
ROYAL BANK OF CANADA		1.5	1.5	13	1,950	金融
CHEVRON CORP		0.6	0.45	6	971	エネルギー
AT&T INC		6	12	19	2,903	コミュニケーション・サービス
WILLIAMS COS INC		7.8	—	—	—	エネルギー
WALGREENS BOOTS ALLIANCE INC		1.75	0.9	1	278	生活必需品
OGE ENERGY CORP		9	4.5	15	2,349	公益事業
MANULIFE FINANCIAL CORP		—	10	19	2,850	金融
GILEAD SCIENCES INC		5.5	4.55	34	5,153	ヘルスケア
BANK OF MONTREAL		3.4	1.2	9	1,447	金融
BANK OF NOVA SCOTIA		1.5	0.5	2	328	金融
アメリカ・ドル通貨計	株数、金額	51.95	48.95	264	39,551	
	銘柄数<比率>	15銘柄	15銘柄		<27.4%>	

グローバル超好配当株式マザーファンド

銘柄	株数	株数	期末		業種等	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
		百株	百株	千カナダ・ドル	千円	
<b>(カナダ)</b>						
CAN IMPERIAL BK OF COMMERCE		3.5	1.5	8	879	金融
GREAT-WEST LIFECO INC		2	8.25	36	3,937	金融
カナダ・ドル通貨計	株数、金額 銘柄数 < 比率 >	5.5 2銘柄	9.75 2銘柄	44	4,816 <3.3%>	
<b>(香港)</b>						
SUN HUNG KAI PROPERTIES		—	5	40	771	不動産
PAX GLOBAL TECHNOLOGY LTD		50	—	—	—	情報技術
PEOPLE'S INSURANCE CO GROU-H		570	270	70	1,347	金融
PING AN INSURANCE GROUP CO-H		—	10	39	759	金融
CHINA MERCHANTS BANK-H		—	10	30	580	金融
BANK OF CHINA LTD-H		460	200	58	1,113	金融
香港・ドル通貨計	株数、金額 銘柄数 < 比率 >	1,080 3銘柄	495 5銘柄	238	4,572 <3.2%>	
<b>(シンガポール)</b>						
DBS GROUP HOLDINGS LTD		12	12	38	4,282	金融
シンガポール・ドル通貨計	株数、金額 銘柄数 < 比率 >	12 1銘柄	12 1銘柄	38	4,282 <3.0%>	
<b>(台湾)</b>						
MEDIATEK INC		5	5	465	2,208	情報技術
台湾・ドル通貨計	株数、金額 銘柄数 < 比率 >	5 1銘柄	5 1銘柄	465	2,208 <1.5%>	
<b>(イギリス)</b>						
BHP GROUP PLC		11.25	11.25	27	5,213	素材
WOODSIDE ENERGY GROUP LTD		8.07	5.82	9	1,799	エネルギー
RIO TINTO PLC		0.75	1.75	9	1,807	素材
NATIONAL GRID PLC		4	4	4	754	公益事業
IMPERIAL BRANDS PLC		13.5	13.5	24	4,646	生活必需品
BRITISH AMERICAN TOBACCO PLC		8.25	8.25	21	3,959	生活必需品
イギリス・ポンド通貨計	株数、金額 銘柄数 < 比率 >	45.82 6銘柄	44.57 6銘柄	96	18,180 <12.6%>	
<b>(スイス)</b>						
SWISS RE AG		1.1	2.6	26	4,489	金融
ZURICH INSURANCE GROUP AG		0.88	0.88	38	6,462	金融
SWISS LIFE HOLDING AG-REG		0.6	0.6	33	5,666	金融
スイス・フラン通貨計	株数、金額 銘柄数 < 比率 >	2.58 3銘柄	4.08 3銘柄	98	16,618 <11.5%>	

銘柄	株数	株数	期末		業種等
			評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(ノルウェー) DNB BANK	百株 7.25	百株 10.25	千ノルウェー・クローネ 211	千円 2,944	金融
ノルウェー・クローネ通貨計	株数、金額 銘柄数 < 比率 >	7.25 1銘柄	10.25 1銘柄	211 <2.0%>	
(ブラジル) CPFL ENERGIA SA	百株 20	百株 20	千ブラジル・リアル 73	千円 2,236	公益事業
ブラジル・リアル通貨計	株数、金額 銘柄数 < 比率 >	20 1銘柄	20 1銘柄	73 <1.6%>	
(韓国) KT&G CORP HANA FINANCIAL GROUP	百株 4 0.75	百株 1.5 4.75	千韓国・ウォン 13,590 20,092	千円 1,569 2,320	生活必需品 金融
韓国・ウォン通貨計	株数、金額 銘柄数 < 比率 >	4.75 2銘柄	6.25 2銘柄	33,682 <2.7%>	
ユーロ (フランス) AXA SA	百株 10.5	百株 10.5	千ユーロ 29	千円 4,840	金融
国小計	株数、金額 銘柄数 < 比率 >	10.5 1銘柄	10.5 1銘柄	29 <3.4%>	
ユーロ (ドイツ) ALLIANZ SE-REG	百株 0.65	百株 1.65	千ユーロ 38	千円 6,256	金融
国小計	株数、金額 銘柄数 < 比率 >	0.65 1銘柄	1.65 1銘柄	38 <4.3%>	
ユーロ (スペイン) IBERDROLA SA	百株 38	百株 32	千ユーロ 35	千円 5,813	公益事業
国小計	株数、金額 銘柄数 < 比率 >	38 1銘柄	32 1銘柄	35 <4.0%>	
ユーロ (イタリア) ENEL SPA SNAM SPA TERNAL SPA	百株 — 15 28.2	百株 71 52 28.2	千ユーロ 45 23 20	千円 7,396 3,856 3,395	公益事業 公益事業 公益事業
国小計	株数、金額 銘柄数 < 比率 >	43.2 2銘柄	151.2 3銘柄	89 <10.2%>	
ユーロ通貨計	株数、金額 銘柄数 < 比率 >	92.35 5銘柄	195.35 6銘柄	193 <21.9%>	
ファンド合計	株数、金額 銘柄数 < 比率 >	1,327.2 40銘柄	851.2 43銘柄	— <90.7%>	130,859

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

## グローバル超好配当株式マザーファンド

### ■投資信託財産の構成

2023年11月24日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	142,442 千円	98.7 %
コール・ローン等、その他	1,805	1.3
投資信託財産総額	144,247	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月24日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=149.63円、1カナダ・ドル=109.26円、1オーストラリア・ドル=98.25円、1香港・ドル=19.19円、1シンガポール・ドル=111.65円、1台湾・ドル=4.749円、1イギリス・ポンド=187.71円、1スイス・フラン=169.30円、1ノルウェー・クローネ=13.89円、1スウェーデン・クローネ=14.28円、1ブラジル・リアル=30.484円、100韓国・ウォン=11.55円、1オフショア・人民元=20.934円、1タイ・バーツ=4.22円、1ユーロ=163.23円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(132,199千円)の投資信託財産総額(144,247千円)に対する比率は、91.6%です。

### ■損益の状況

当期 自 2022年11月25日 至 2023年11月24日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	7,323,022円
受取配当金	7,289,377
受取利息	22,567
その他収益金	11,213
支払利息	△ 135
(B) 有価証券売買損益	7,826,422
売買益	20,633,317
売買損	△ 12,806,895
(C) その他費用	△ 507,213
(D) 当期損益金 (A + B + C)	14,642,231
(E) 前期繰越損益金	28,114,976
(F) 解約差損益金	△ 1,993,638
(G) 追加信託差損益金	1,699,697
(H) 合計 (D + E + F + G)	42,463,266
次期繰越損益金 (H)	42,463,266

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

### ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年11月24日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	144,247,761円
コール・ローン等	1,039,021
株式 (評価額)	142,442,064
未収配当金	766,676
(B) 負債	—
(C) 純資産総額 (A - B)	144,247,761
元本	101,784,495
次期繰越損益金	42,463,266
(D) 受益権総口数	101,784,495口
1万口当り基準価額 (C / D)	14,172円

\* 期首における元本額は102,190,554円、当作成期間中における追加設定元本額は6,900,303円、同解約元本額は7,306,362円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

グローバル超好配当株式ファンド (資産成長型) 55,689,237円

グローバル超好配当株式ファンド (隔月決算型) 46,095,258円

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は14,172円です。